

愛知大学現代中国学会主催 2024年度研究会

旅行記から見る 戦後日中関係の諸相

講師：村田雄二郎氏

（東京大学名誉教授・同志社大学グローバル・
スタディーズ研究科教授）



講師紹介

1957年生まれ。東京大学教養学部、同大学院人文科学研究科中国哲学専攻博士課程で学び、東京大学文学部助手、同教養学部助教授、教授を経て現職。日本の中国近代思想史研究のトップランナーとして知られ、日中関係史に関わる業績も多い。近年の主要著書に『言語・民族・国家・歴史—村田雄二郎中国研究文集』（重慶出版社、2020年）、『アジア人物伝 第8巻 アジアのかたちの完成』（編著、集英社、2022年）、『戦後日本と中華圏の人物交流史』（共編著、東洋文庫、2024年）など。

発表趣旨：日本と中国とのあいだの交流は1972年の国交正常化以降に飛躍的に拡大しますが、それ以前、中華人民共和国成立初期から日中間の人的な交流は連綿と続いていました。そのうち、訪中した日本人が残した記録は、当時の日本人が中国をどのように見たか、中国が日本人に何を見せたかったかを知る上で貴重な資料であると同時に、戦前・戦中・戦後を貫いて日本人の中国観の連続と断絶を考える貴重な材料でもあります。「日本人の中国旅行記」を系統的に研究してきた研究グループによる成果の一端をご報告いただきます。

日時：2025年3月7日（金）14時45分～16時15分

場所：愛知大学名古屋校舎厚生棟3F W32

***会場が変更になっております。ご注意ください。**

参加対象者：本学教員及び学生・学外研究者 **25名**

要申込：こちらから事前にお申込み下さい。

（定員になり次第締め切らせて頂きます） **事前申込QRコード➡**



お問合せ：愛知大学現代中国学会室

TEL:052-564-6128 FAX:052-564-6228